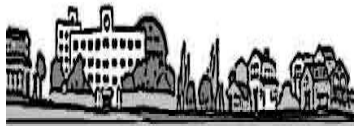




浜ぼうふう



～人，まち，自然が私たちの学校～

太夫浜小学校だより
令和3年3月10日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

令和2年度のまとめをしっかりと！

校長 野瀬 浩司

今年度、学校だよりや様々な会でのあいさつで何度も使った言葉ですが、「誰もが予想しなかった」「今まで経験したことのない特別な」令和2年度になりました。

それでも、年度末は訪れ、子どもたちは、進学・進級します。残り少ない授業日数ですが、今年度のまとめをしっかりと行いたいと思います。学年・学級によって、様々な「まとめ」があると思いますが、次の3点は必須の内容です。

- ①（臨時休校はあったが）学習内容を全て終わらせる。
- ②今年度の振り返りをし、できるようになったこと・成長したことを自覚させる。
- ③次の学年になるための心構えをもたせる。

③に関連することですが、今年度は「一つ上の学年になる経験」が例年より少ないかもしれません。例えば、1年生なら、「幼稚園・保育園等との交流会」ができませんでした。一年先輩として、新1年生を楽しませたり、小学校を紹介したりする会を企画・運営することは、貴重な経験になります。5年生なら、全校を代表して卒業式の会場準備（新年度の入学式も同様）を行っていますが、式自体が縮小されることで、活躍の場が減っています。

そういう状況だからこそ、**今の自分よりもステップアップするイメージや〇〇（中学生・高学年など）としての自覚をもたせる働き掛け**を、学年に応じた場面で行う必要があると考えます。

ちなみに、5年生は「朝のあいさつ」に力を入れています。6年生を送る会の中で、「わたしたち6年生は、『**あいさつが自慢の学校**』になるようにがんばってきました。今の5年生も引き継いでほしいです」との言葉があったからです。最高学年になるための心構えをもち、行動に現し始めているのでしょう。



卒業式の歌の練習をする6年生

新型コロナウイルスの感染拡大により、学校の教育活動・PTA活動・地域とつながる会合や行事などの多くが、中止や縮小せざるを得ない一年でした。この後予定されている卒業式や入学式も、列席者（ご来賓）を制限して行うことになっています。

来年度の前半も、同じような状況が続くことが推測されます。保護者や地域の皆様と連携・協力して行う活動を、安心して行える日が、一刻も早く訪れることを願っています。